

男女共同参画に関する市民意識調査

～ 令和6年度守山市 男女共同参画に関する市民意識調査報告書 概要版 ～

◇*

本調査は、男女共同参画についてのこれまでの取り組みの成果や実態を把握し、今後の施策検討の参考とするため実施しました。

- ◆調査対象：令和6年4月1日現在、住民基本台帳に登録のある18歳以上の市民から2,000人を無作為に抽出
- ◆調査期間・方法：令和6年7月1日から令和6年7月22日まで郵送により調査票配付、郵送またはインターネットにより回収、回答
- ◆回収状況：450件（回収率22.5%）
- ◆留意事項
 - ①設問ごとの有効回答数は「n=〇」と表示しており、回答比率はこれを100%として算出している。
 - ②本概要版の数表における比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
 - ③複数回答の設問については、選択肢毎に回答比率を算出しているため、回答比率の合計は100%にならない。

◇*

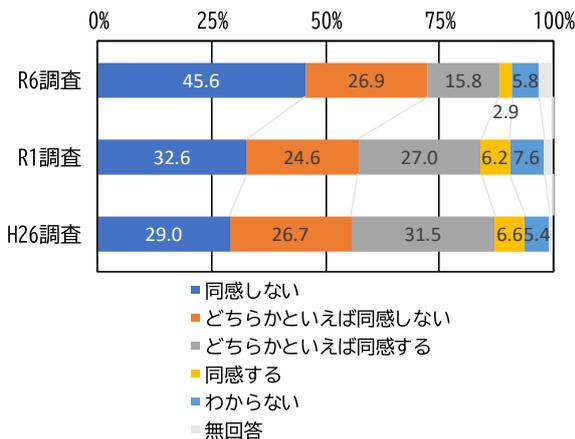
家庭生活について

1. 「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という考え方

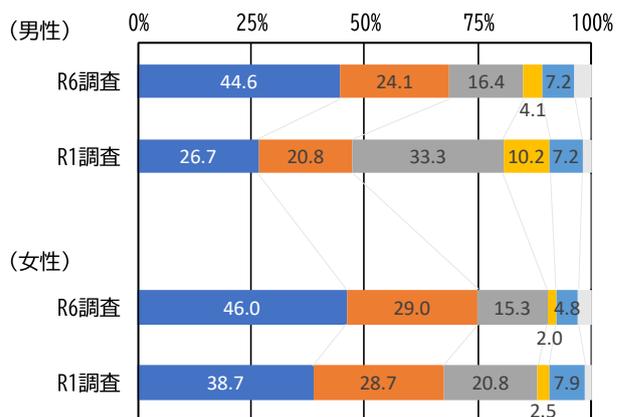
◇『同感しない』が7割以上

「同感しない」、「どちらかといえば同感しない」の合わせた割合（『同感しない』）は、7割を超えている。性別では、男性、女性ともに『同感しない』の割合が高く、男性で68.7%、女性で75.0%、女性は男性より6.3ポイント高くなっている。前回調査と比較しても、男性、女性ともに『同感しない』の割合は増加しており、特に男性は大幅に増加している。

【全体】 (n=450)



【性別】



2. 家事と育児の分担についての考え方

◇「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」が約6割

①家事について

「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」が57.8%と最も多く、次いで「男女で分担すべきだが、男性は仕事が忙しくて分担できないのはやむをえない」が24.4%、「女性の仕事であるが、男性は手伝えることも必要だ」が14.4%となっている。

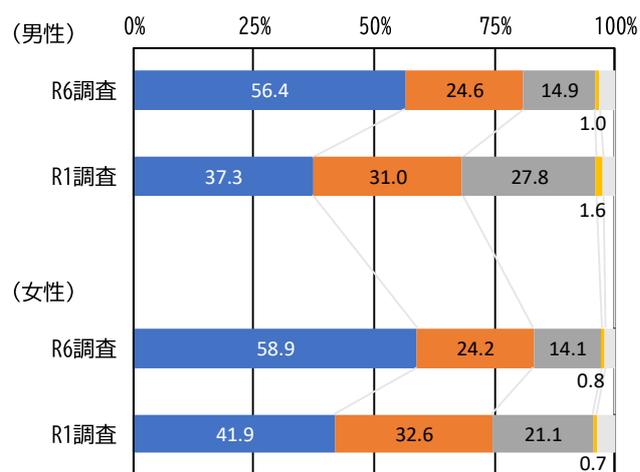
性別では男性、女性ともに同様の傾向であるが、前回調査と比較して男性、女性ともに「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」の割合が大幅に増加している。

【全体】(n=450)



- 家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである
- 男女で分担すべきだが、男性は仕事が忙しくて分担できないのはやむをえない
- 女性の仕事であるが、男性は手伝えることも必要だ
- 女性の仕事であり、男性はしなくてよい
- 無回答

【性別】

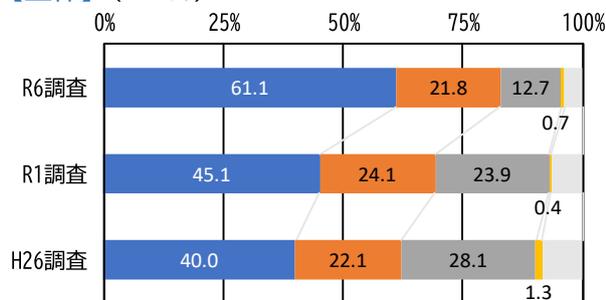


②育児について

「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」が61.1%と最も多く、次いで「男女で分担すべきだが、男性は仕事が忙しくて分担できないのはやむをえない」が21.8%、「女性の仕事であるが、男性は手伝えることも必要だ」が12.7%となっている。

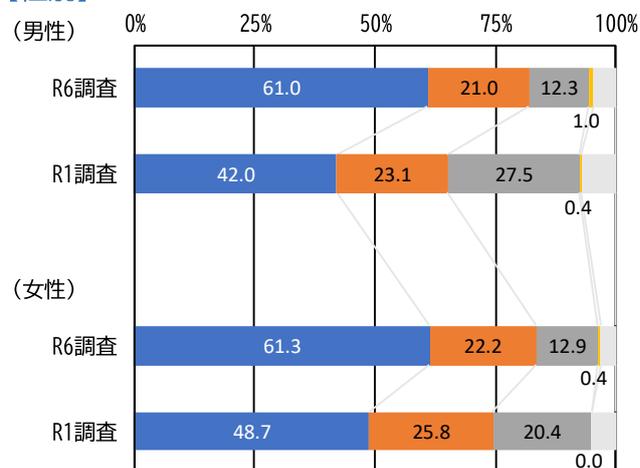
性別では男性、女性ともに同様の傾向であるが、前回調査と比較して男性、女性ともに「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」の割合が大幅に増加し、「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」と「男女で分担すべきだが、男性は仕事が忙しくて分担できないのはやむをえない」を合わせると8割を超えている。

【全体】(n=450)



- 家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである
- 男女で分担すべきだが、男性は仕事が忙しくて分担できないのはやむをえない
- 女性の仕事であるが、男性は手伝えることも必要だ
- 女性の仕事であり、男性はしなくてよい
- 無回答

【性別】



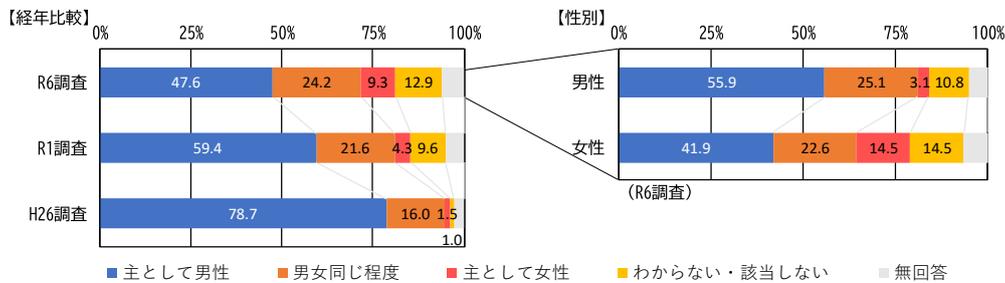
3. 家庭での役割分担の状況

◇家事・育児は女性、生活費を稼ぐは男性、ごみ出しや地域活動への参加は男女同じ程度

[有効回答数(n)=450件]

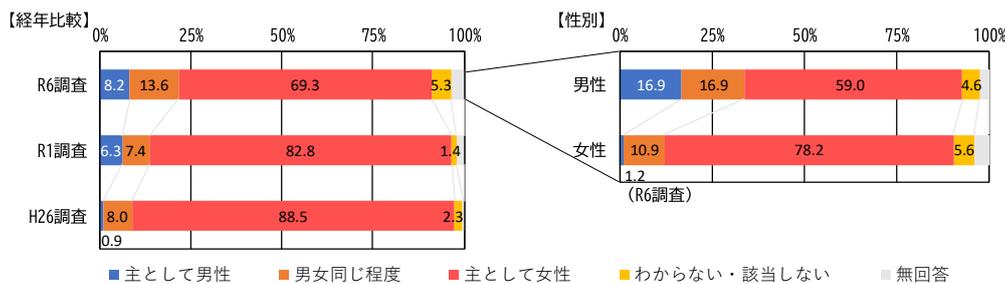
① 生活費を稼ぐ

「主として男性」が47.6%で最も多く、次いで「男女同じ程度」が24.2%、「主として女性」が9.3%となっている。



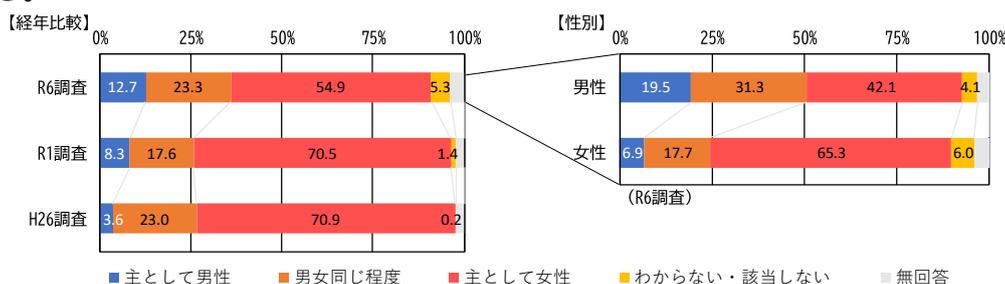
② 食事のしたく

「主として女性」が69.3%で最も多く、次いで「男女同じ程度」が13.6%、「主として男性」が8.2%となっている。



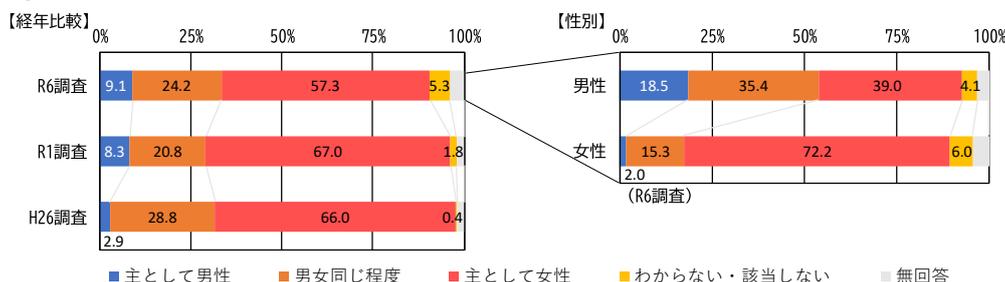
③ 食事の後片付け

「主として女性」が54.9%で最も多く、次いで「男女同じ程度」が23.3%、「主として男性」が12.7%となっている。



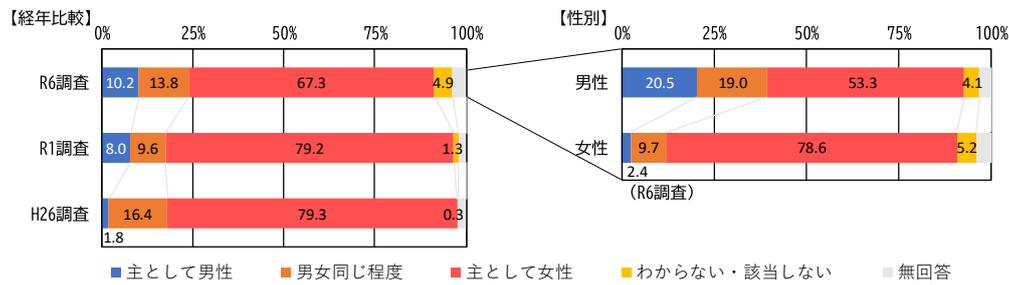
④ 掃除

「主として女性」が57.3%で最も多く、次いで「男女同じ程度」が24.2%、「主として男性」が9.1%となっている。



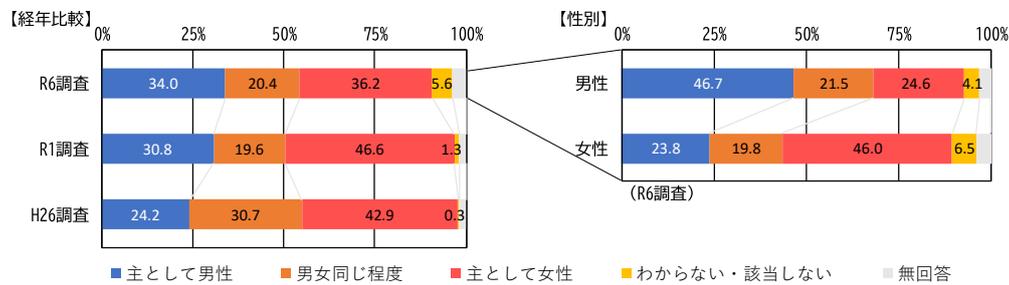
⑤ 洗濯

「主として女性」が67.3%で最も多く、次いで「男女同じ程度」が13.8%、「主として男性」が10.2%となっている。



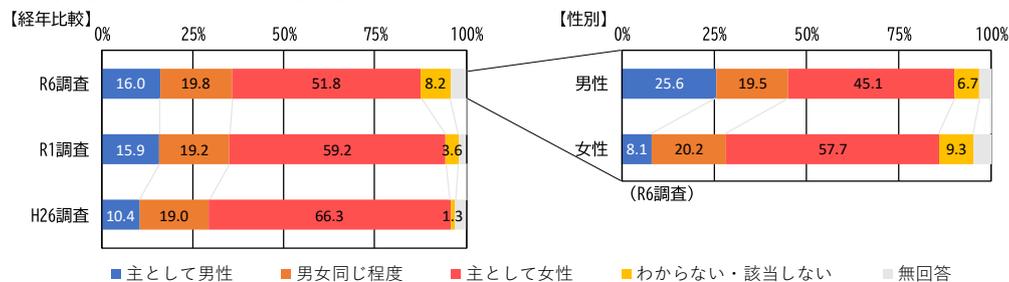
⑥ごみ出し

「主として女性」が36.2%で最も多く、次いで「主として男性」が34.0%、「男女同じ程度」が20.4%となっている。性別では男性は「主に男性」、女性は「主に女性」が最も多いことから男女同じ程度の役割とも言える。



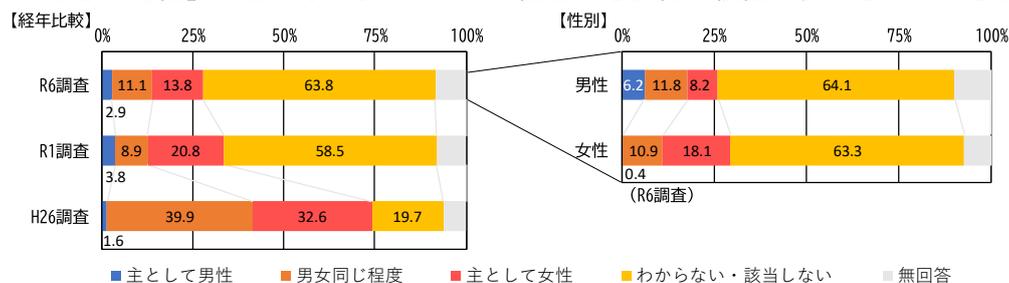
⑦家計の管理

「主として女性」が51.8%で最も多く、次いで「男女同じ程度」が19.8%、「主として男性」が16.0%となっており、性別でも女性の役割が多くなっている。



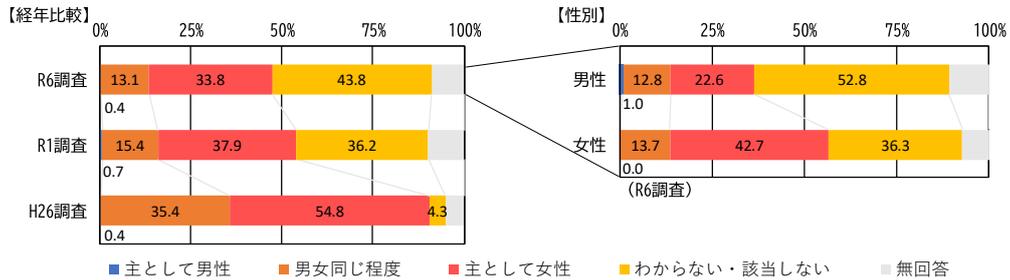
⑧介護が必要な高齢者や病人の世話

「わからない・該当しない」が63.8%で最も多く、次いで「主として女性」が13.8%、「男女同じ程度」が11.1%、「主として男性」が2.9%となっており、性別でも女性の役割が多くなっている。



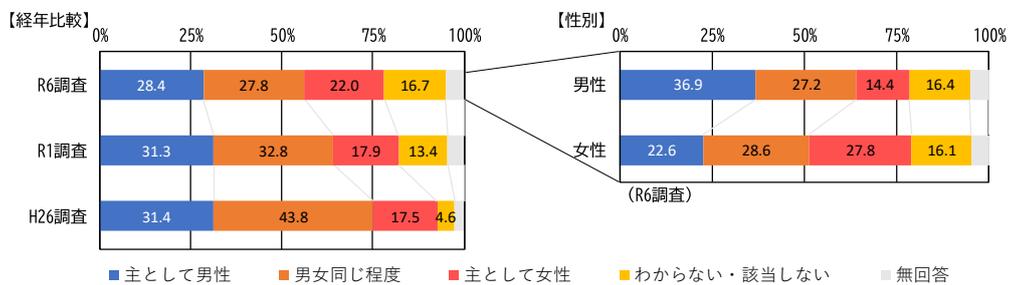
⑨子育てや子どもの世話

「わからない・該当しない」が43.8%で最も多く、次いで「主として女性」が33.8%、「男女同じ程度」が13.1%、「主として男性」が0.4%となっている。



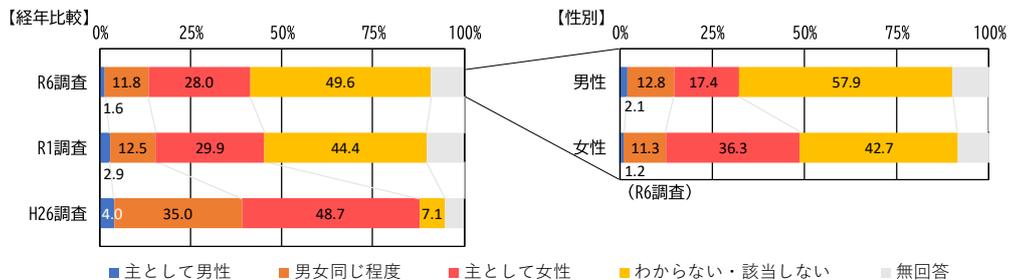
⑩地域活動への参加（自治会活動など）

「主として男性」が28.4%で最も多く、次いで「男女同じ程度」が27.8%、「主として女性」が22.0%となっている。



⑪学校行事、PTAなどの参加

「わからない、該当しない」が49.6%であるが、「主として女性」が28.0%、「男女同じ程度」が11.8%、「主として男性」が1.6%となっている。



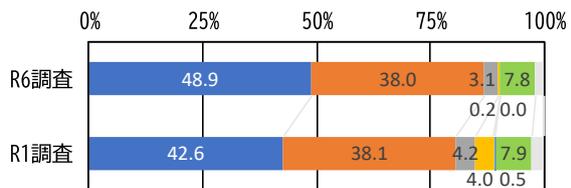
4. 女性が仕事に就くことへの考え方

◇「ずっと仕事を続ける方がよい」が約5割

「ずっと仕事を続ける方がよい」が48.9%と最も多く、次いで「子どもができたなら仕事をやめ、子育てが一段落したら再び仕事をもつ方がよい」が38.0%となっている。

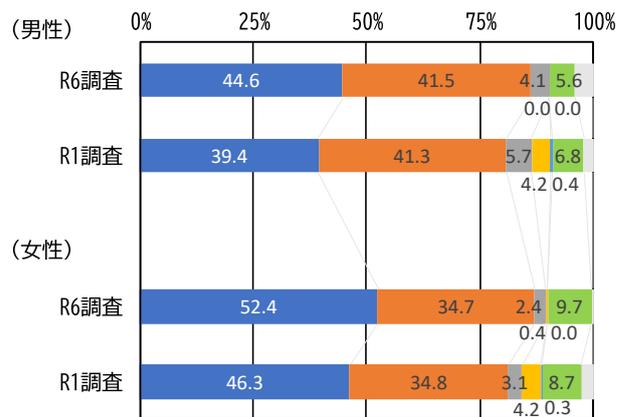
性別では男性、女性ともに同様の傾向であり、「ずっと仕事を続ける方がよい」、「子どもができたなら仕事をやめ、子育てが一段落したら再び仕事をもつ方がよい」の合計は8割を大きく超えている。

【全体】(n=450)



- ずっと仕事を続ける方がよい
- 子どもができたなら仕事をやめ、子育てが一段落したら再び仕事をもつ方がよい
- 子どもができたなら、仕事をやめ子育てに専念したほうがよい
- 家庭をもったら仕事をやめ、家事に専念したほうがよい
- 女性は仕事をもたない方がよい
- その他
- 無回答

【性別】



5. 男性の育児休業や介護休業の取得についての考え方

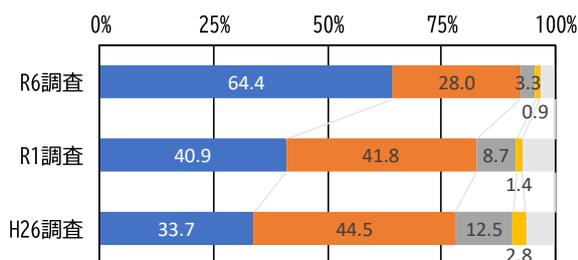
◇「積極的に取った方がよい」が6割超

①育児休業について

「積極的に取った方がよい」が64.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」が28.0%となっており合計すると、9割を超えている。

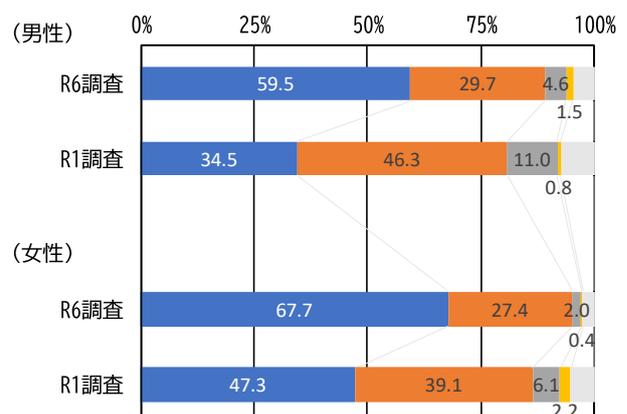
性別では男性、女性ともに同様の傾向であるが、女性は男性より「積極的に取ったほうがよい」の割合が高くなっている。前回調査と比較して男性、女性ともに「積極的に取った方がよい」の割合が大幅に増加している。

【全体】(n=450)



- 積極的に取った方がよい
- どちらかといえば取った方がよい
- どちらかといえば取らない方がよい
- 取らない方がよい
- 無回答

【性別】

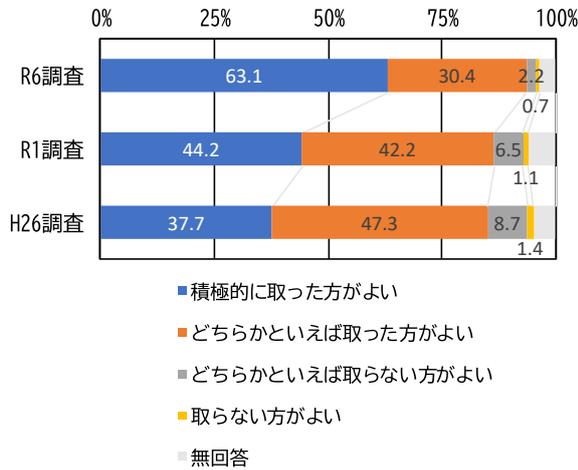


②介護休業について

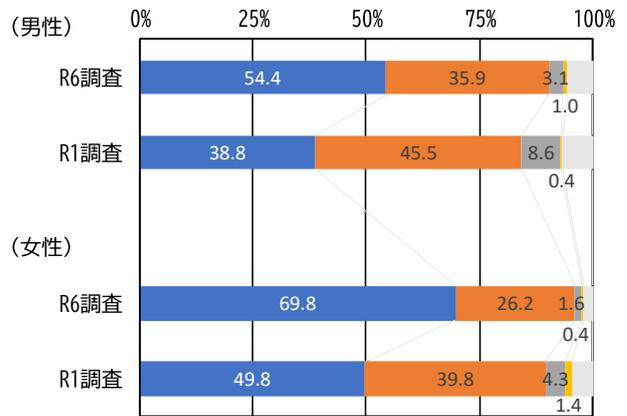
「積極的に取った方がよい」が63.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」が30.4%となっており合計すると、9割を超えている。

性別では男性、女性ともに同様の傾向であり、前回調査と比較して男性、女性ともに「積極的に取った方がよい」の割合が大幅に増加している。

【全体】(n=450)



【性別】



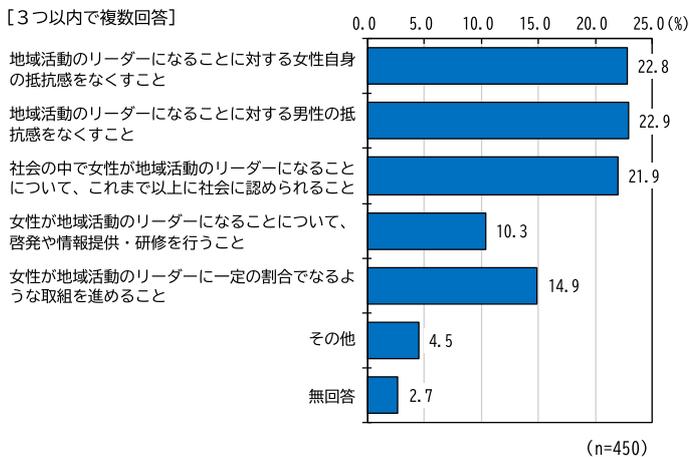
地域・社会活動などについて

6. 女性が地域活動のリーダーになるために必要なこと

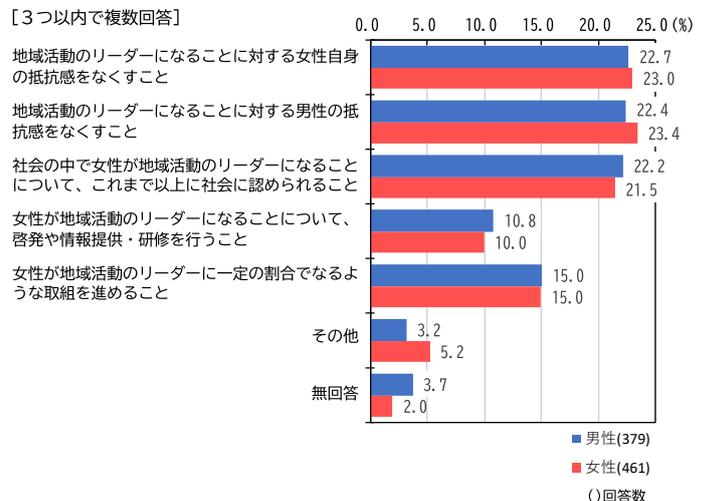
◇女性も男性も抵抗感をなくすことが必要

「地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」が22.9%と最も多く、次いで「地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」が22.8%、「社会の中で女性が地域活動のリーダーになることについて、これまで以上に社会に認められること」が21.9%と続いている。

【全体】



【性別】



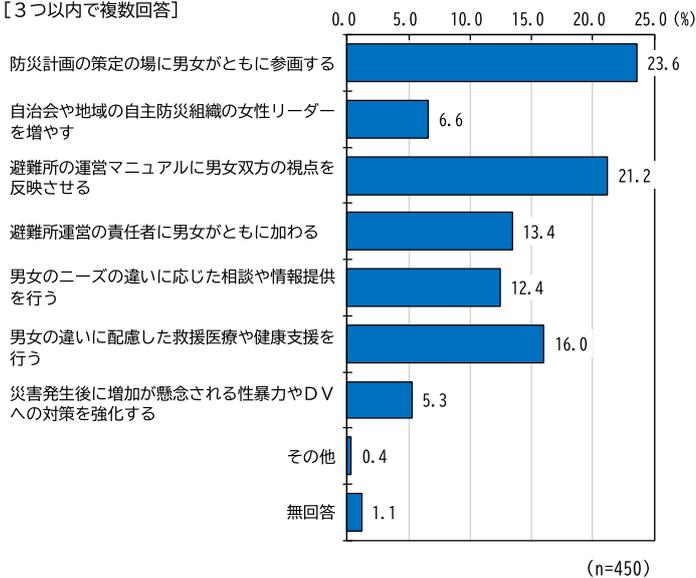
7. 防災・災害対策において、男女共同参画を推進するためには

◇計画やマニュアルの策定に女性の視点が必要

「防災計画の策定の場に男女がともに参画する」が 23.6%と最も多く、次いで「避難所の運営マニュアルに男女双方の視点を反映させる」が 21.2%、「男女の違いに配慮した救援医療や健康支援を行う」が 16.0%と続いている。

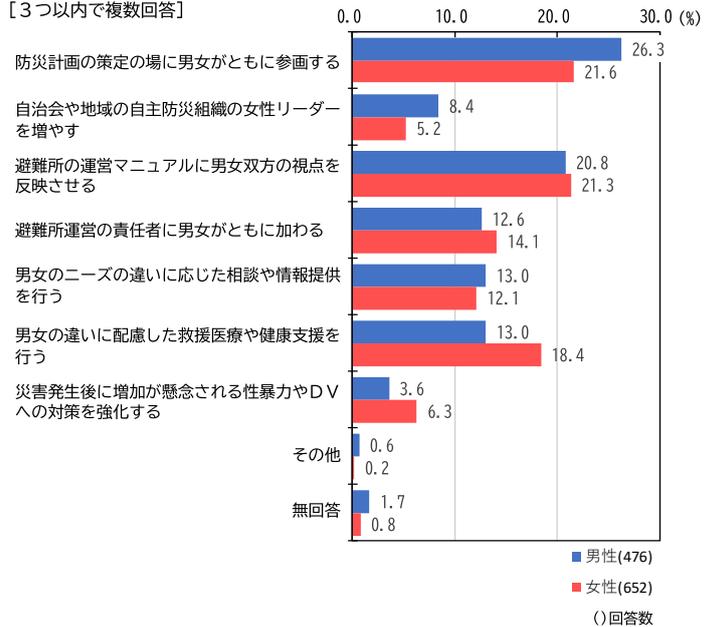
【全体】

[3つ以内で複数回答]



【性別】

[3つ以内で複数回答]



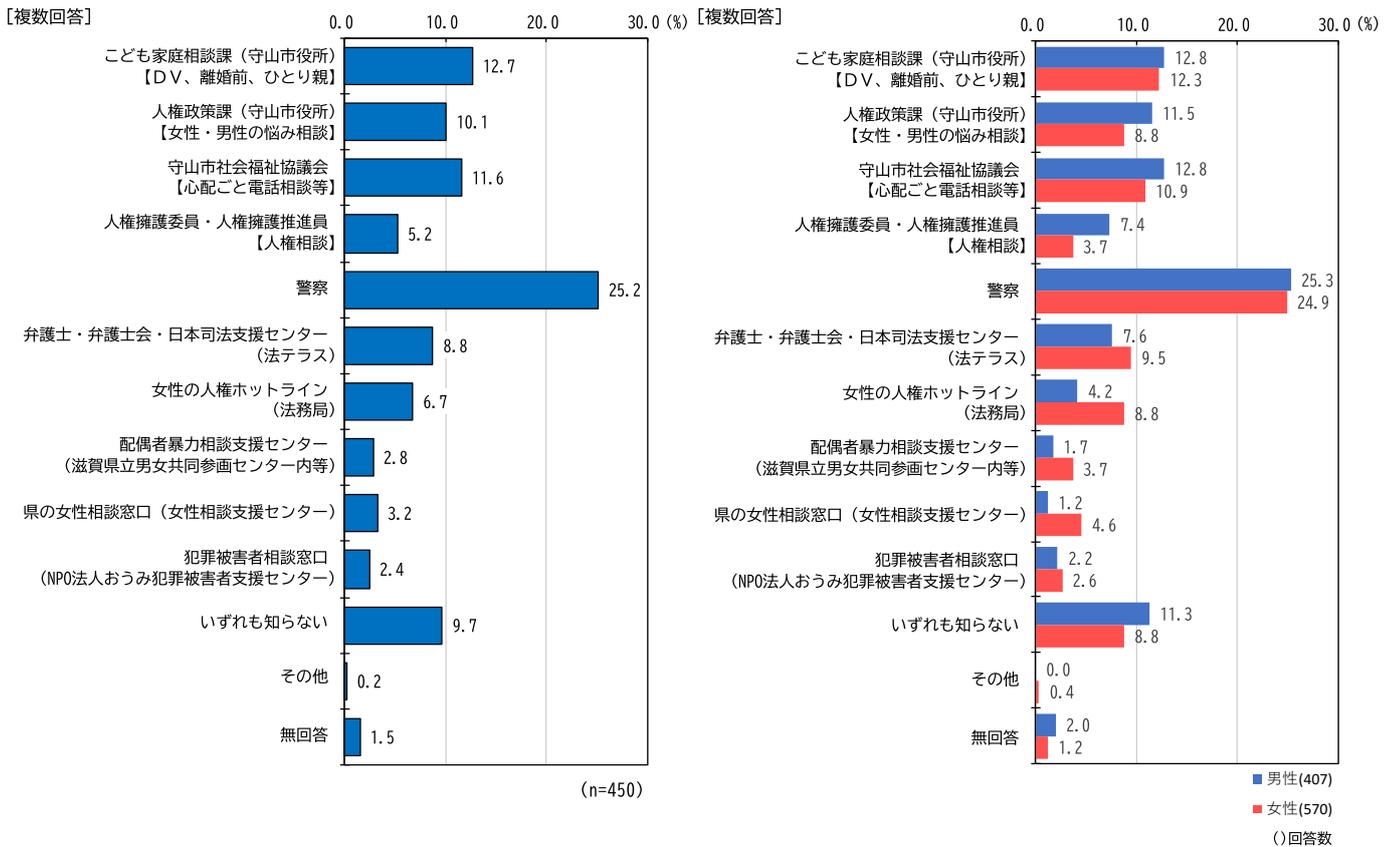
8. セクハラ^(※1)やDVに関する相談窓口の認知度

◇「警察」の認知度が高く25.2%、「いずれも知らない」は9.7%

「警察」が25.2%と最も多く、次いで「こども家庭相談課（守山市役所）【DV、離婚前、ひとり親】」が12.7%、「守山市社会福祉協議会【心配ごと電話相談等】」が11.6%と続いている。一方で、「いずれも知らない」が9.7%となっている。

【全体】

【性別】



※1 セクハラ（セクシュアルハラスメント）…相手の意に反する性的言動により、相手方に不快感や苦痛を与える行為。

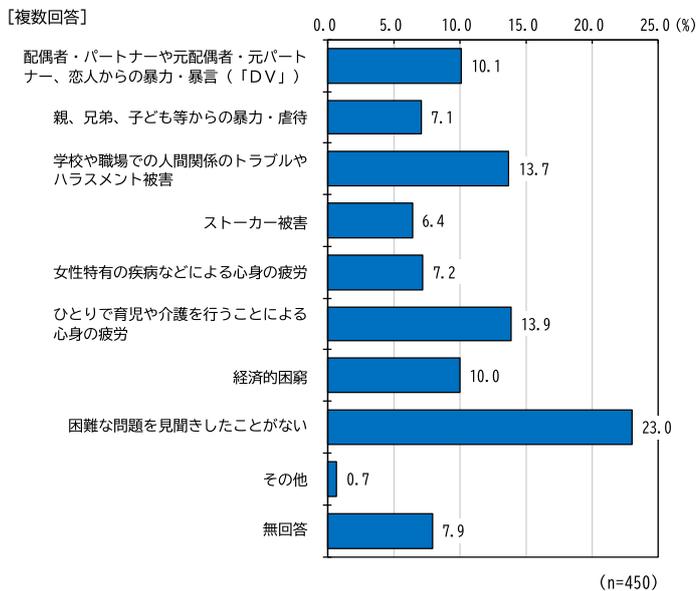
9 女性であるための困難な問題 ^(※3)

◇「困難な問題を見聞きしたことがない」が全体で23.0%、見聞きしたことがある方で、男性は「学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害」が11.2%、女性は「ひとりで育児や介護を行うことによる心身の疲労」16.5%

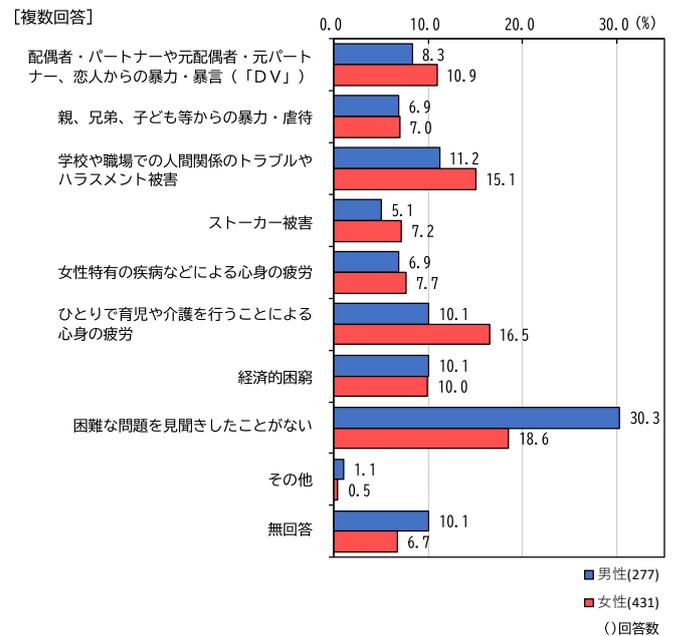
「困難な問題を見聞きしたことがない」が23.0%と最も多く、次いで「ひとりで育児や介護を行うことによる心身の疲労」が13.9%、「学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害」が13.7%と続いている。

性別では男性、女性ともに同様の傾向であるが、男性は女性より「困難な問題を見聞きしたことがない」の割合が高くなっている。

【全体】



【性別】



10 困難な問題に関する相談機関の認知度

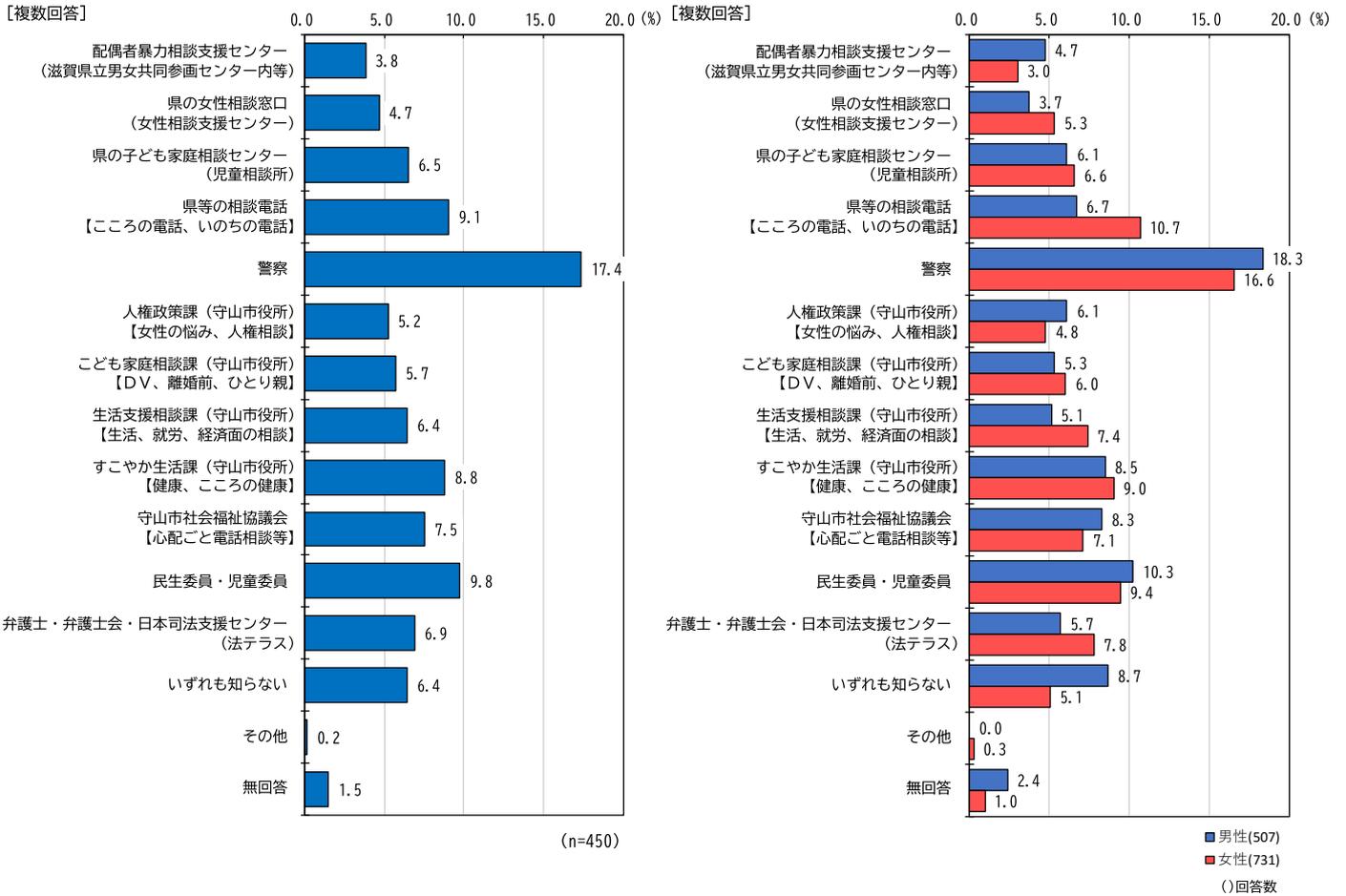
◇ 「警察」の認知度が高く17.4%、「いずれも知らない」は6.4%

「警察」が17.4%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員」が9.8%、「県等の相談電話【こころの電話、いのちの電話】」が9.1%と続いている。一方で「いずれも知らない」が6.4%となっている。

性別では男性、女性ともに「警察」、次いで「民生委員・児童委員」の割合が高く、男性は女性より「いずれも知らない」の割合が高くなっている。

【全体】

【性別】



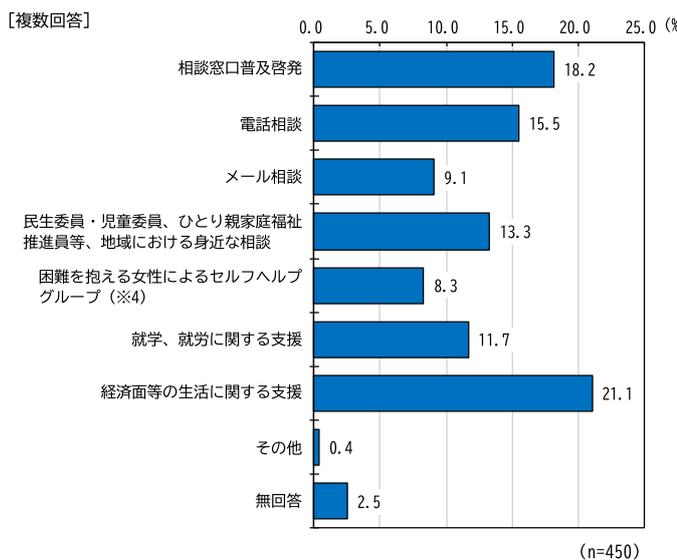
11 困難な問題を抱える女性に対する支援

◇「経済面等の生活に関する支援」、「相談窓口普及啓発」、「電話相談」が必要とされる効果的な支援

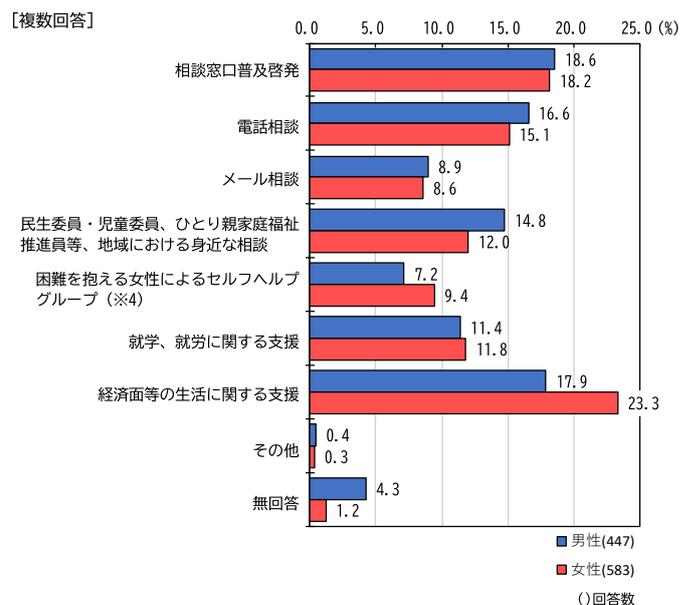
「経済面等の生活に関する支援」が21.1%と最も多く、次いで「相談窓口普及啓発」が18.2%、「電話相談」が15.5%と続いている。

性別では男性は「相談窓口普及啓発」の割合が最も高いが、女性は「経済面等の生活に関する支援」の割合が最も高くなっている。

【全体】



【性別】



※4 セルフヘルプグループ…同じ境遇の人々が悩みを共有する自助グループのこと。

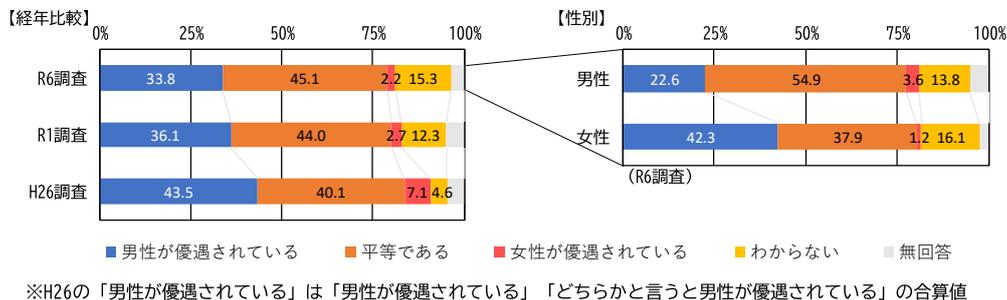
12. 各分野での男女平等意識について

◇家庭生活、学校、地域活動、法律や制度の上は平等意識が高く、職場、政治の場、社会通念・慣習・しきたりでは男性が優遇

[有効回答数(n)=450 件]

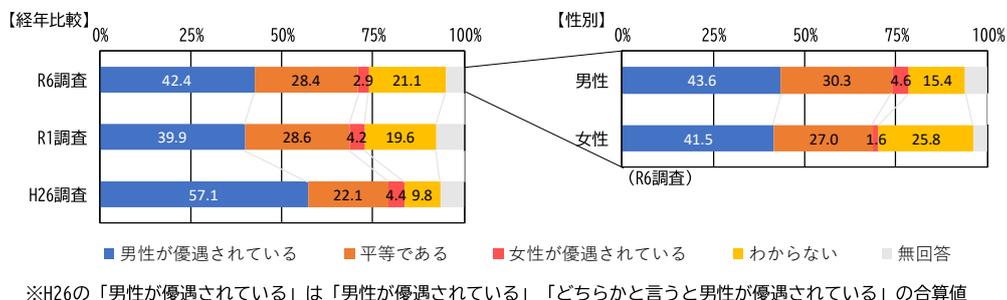
①家庭生活で

「平等である」が45.1%と最も多く、次いで「男性が優遇されている」が33.8%、「女性が優遇されている」が2.2%となっている。性別では女性は男性より「男性が優遇されている」の割合が高い。



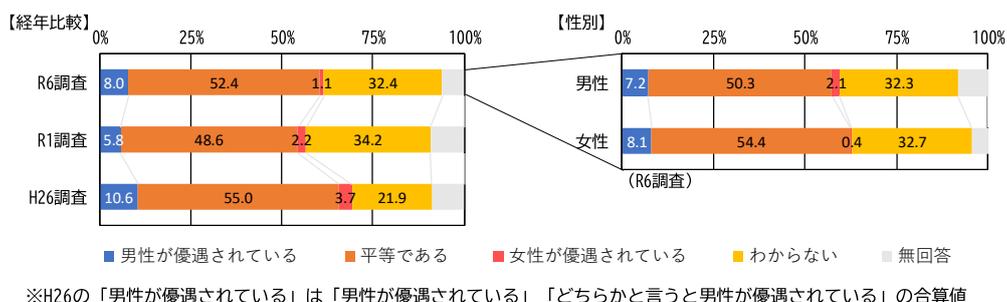
②職場の中で

「男性が優遇されている」が42.4%と最も多く、次いで「平等である」が28.4%、「女性が優遇されている」が2.9%となっている。性別では、男性、女性ともに同様の傾向となっている。



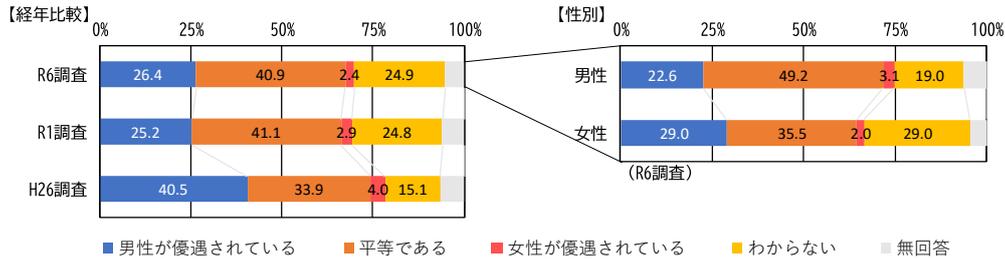
③学校の中で

「平等である」が52.4%と最も多く、次いで「男性が優遇されている」が8.0%、「女性が優遇されている」が1.1%となっている。性別では、男性、女性ともに同様の傾向となっている。



④地域活動の場で

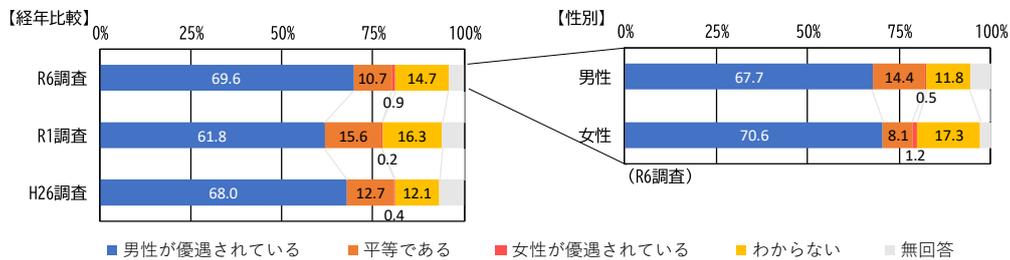
「平等である」が40.9%と最も多く、次いで「男性が優遇されている」が26.4%、「女性が優遇されている」が2.4%となっている。性別では男性は女性より「平等である」の割合が高い。



※H26の「男性が優遇されている」は「男性が優遇されている」「どちらかと言うと男性が優遇されている」の合算値

⑤政治の場で

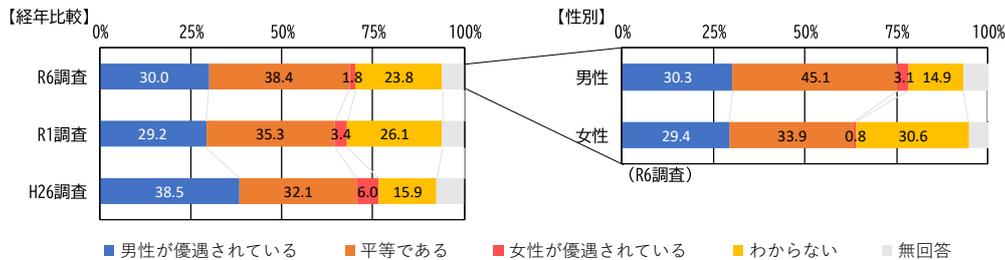
「男性が優遇されている」が69.6%と最も多く、次いで「平等である」が10.7%、「女性が優遇されている」が0.9%となっている。性別では、男性、女性ともに同様の傾向となっている。



※H26の「男性が優遇されている」は「男性が優遇されている」「どちらかと言うと男性が優遇されている」の合算値

⑥法律や制度の上で

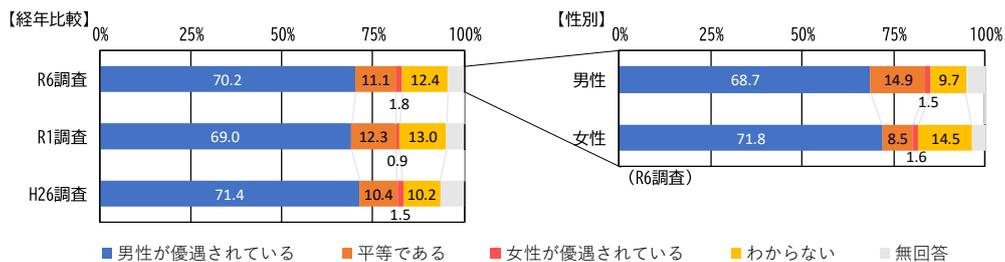
「平等である」が38.4%と最も多く、次いで「男性が優遇されている」が30.0%、「女性が優遇されている」が1.8%となっている。性別では男性は女性より「平等である」の割合が高い。



※H26の「男性が優遇されている」は「男性が優遇されている」「どちらかと言うと男性が優遇されている」の合算値

⑦社会通念・慣習・しきたりなど

「男性が優遇されている」が70.2%と最も多く、次いで「平等である」が11.1%、「女性が優遇されている」が1.8%となっている。性別では、男性、女性ともに同様の傾向となっている。



※H26の「男性が優遇されている」は「男性が優遇されている」「どちらかと言うと男性が優遇されている」の合算値

13. 男性の悩みについて

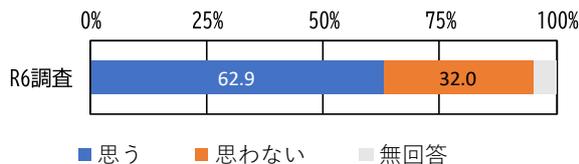
◇固定概念やプレッシャーなどで「生きづらさ」を感じるかは「思う」が62.9%

「思う」が62.9%、「思わない」が32.0%となっている。

性別では、女性は男性より「思う」の割合が高く7割を超えている。

「思う」と答えられた方は「力仕事や危険な仕事を任される」、「家族を養う経済力を求められる」との回答の割合が高く7割を超えている。

【全体】 (n=450)



【性別】

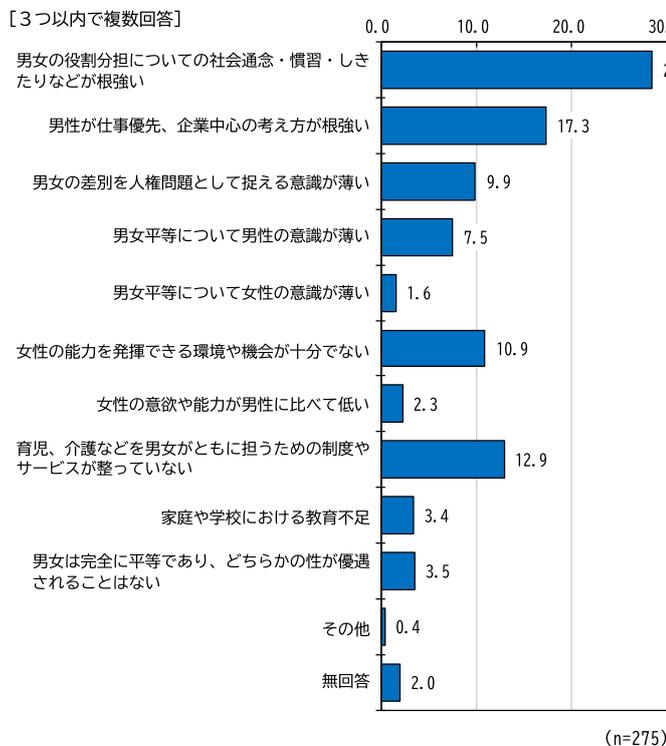


14. 男女不平等の原因について

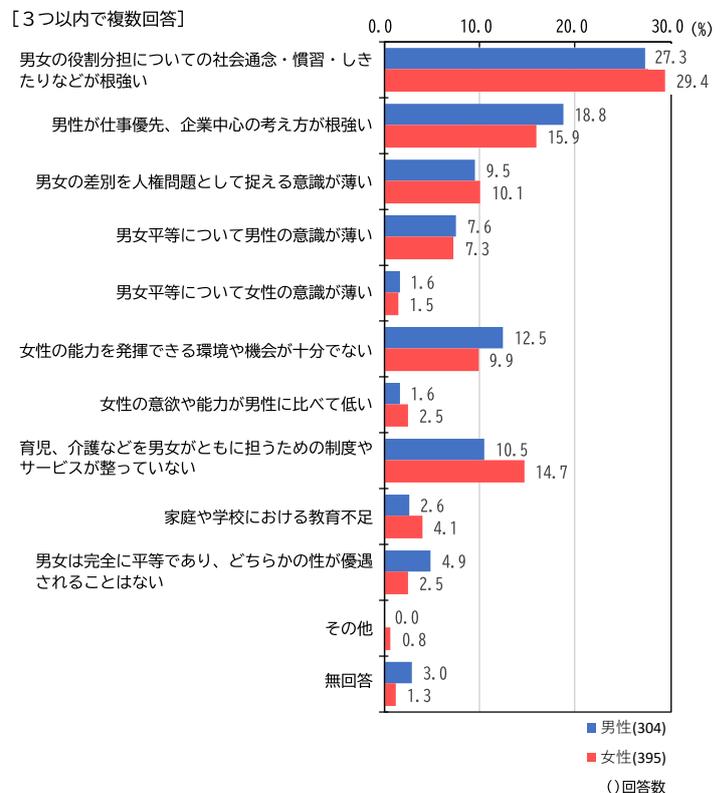
◇「男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い」が最多

「男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い」が28.3%と最も多く、次いで「男性が仕事優先、企業中心の考え方が根強い」が17.3%、「育児、介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整っていない」が12.9%と続いている。

【全体】



【性別】



15. 守山市の今後の施策として期待するもの

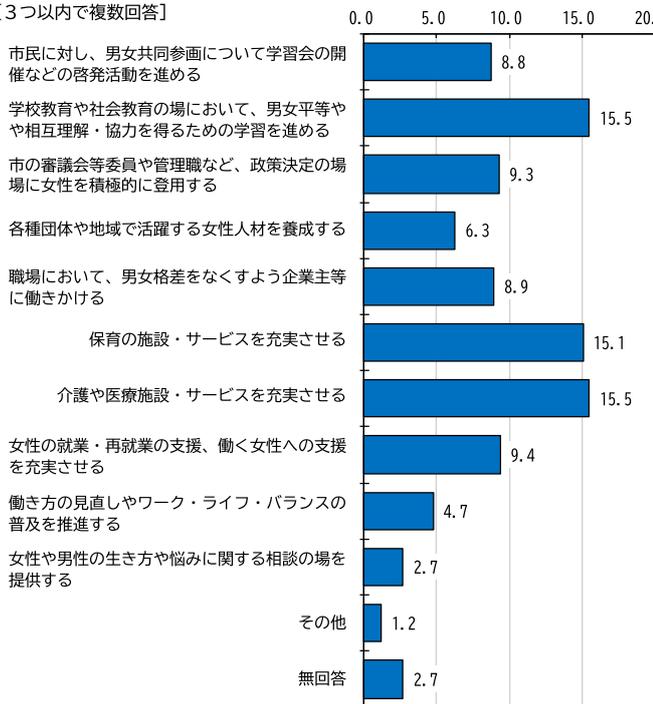
◇「学校教育や社会教育の場において、男女平等や相互理解・協力を得るための学習を進める」「介護や医療施設・サービスを充実させる」が多い

「学校教育や社会教育の場において、男女平等や相互理解・協力を得るための学習を進める」「介護や医療施設・サービスを充実させる」が同率で 15.5%と最も多く、次いで「保育の施設・サービスを充実させる」が 15.1%と続いている。

【全体】

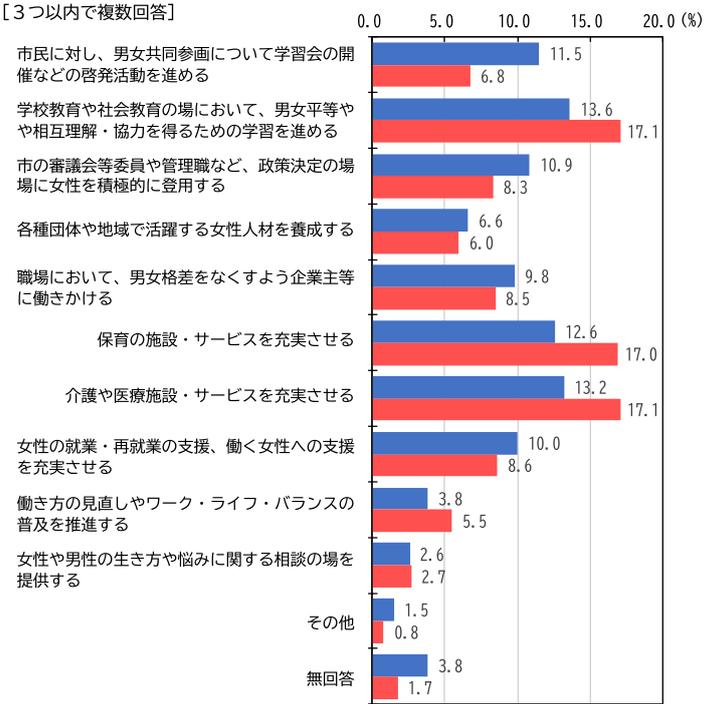
【性別】

[3つ以内で複数回答]



(n=450)

[3つ以内で複数回答]



■ 男性(469)

■ 女性(637)

() 回答数